

19. 輸血製剤廃棄率

算式

【分子】 廃棄赤血球製剤単位数

【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

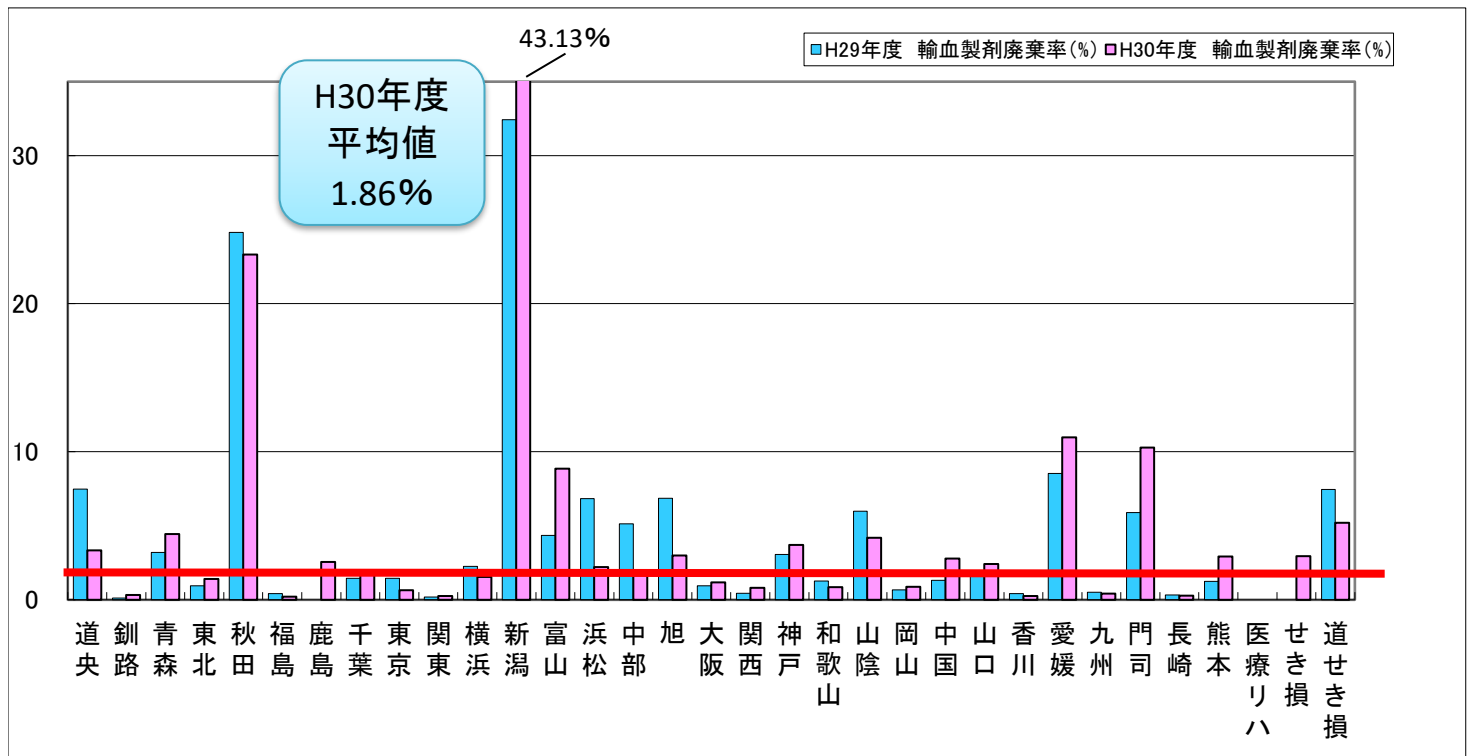
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

19. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H29年度			H30年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	375	28	7.47	540	18	3.33
2	釧路	3,643	4	0.11	4,194	14	0.33
3	青森	1,682	54	3.21	1,399	62	4.43
4	東北	2,130	20	0.94	2,494	35	1.40
5	秋田	274	68	24.82	223	52	23.32
6	福島	2,373	10	0.42	1,860	4	0.22
7	鹿島	160	0	0.00	78	2	2.56
8	千葉	4,253	62	1.46	4,014	78	1.94
9	東京	1,915	28	1.46	2,798	18	0.64
10	関東	8,098	16	0.20	7,612	20	0.26
11	横浜	7,125	160	2.25	6,904	106	1.54
12	新潟	592	192	32.43	524	226	43.13
13	富山	1,474	64	4.34	1,061	94	8.86
14	浜松	1,873	128	6.83	1,539	34	2.21
15	中部	2,104	108	5.13	2,456	46	1.87
16	旭部	1,064	73	6.86	1,035	31	3.00
17	大阪	5,690	54	0.95	5,316	62	1.17
18	関西	9,742	43	0.44	9,742	78	0.80
19	神戸	2,060	63	3.06	1,942	72	3.71
20	和歌山	3,321	42	1.26	3,615	31	0.86
21	山陰	2,370	142	5.99	1,960	82	4.18
22	岡山	2,948	20	0.68	2,958	26	0.88
23	中国	2,144	28	1.31	1,940	54	2.78
24	山口	2,252	40	1.78	2,060	50	2.43
25	香川	4,712	20	0.42	4,652	12	0.26
26	愛媛	562	48	8.54	656	72	10.98
27	九州	3,098	16	0.52	3,398	14	0.41
28	門司	916	54	5.90	642	66	10.28
29	長崎	3,046	10	0.33	3,522	10	0.28
30	熊本	4,152	52	1.25	3,700	108	2.92
31	医療リハ	678	0	0.00	582	0	0.00
32	せき損	104	0	0.00	68	2	2.94
33	道せき損	456	34	7.46	384	20	5.21
合計		87,386	1,681	1.92	85,868	1,599	1.86
平均	500床以上	5,815	67	1.15	5,754	58	1.01
	400床以上	3,277	25	0.75	3,447	37	1.06
	300床以上	2,514	58	2.30	2,453	48	1.96
	300床未満	624	50	8.03	557	50	8.99